

スイッチ OFFで 未来をON



令和7年度
省エネ支援策 パンフレット

省エネで変わる、あなたの事業と地球の未来。



支援制度

- 「省エネって何をやればよいか分からない!」という事業者に向けて、専門家による省エネ診断により支援をします!
また、省エネ・非化石転換補助金により工場・事業所等の省エネ型の設備更新を支援します。
- 省エネお助け隊の伴走支援により、省エネ診断後の設備更新・細かな計測・省エネ補助金活用に向けたアドバイスなど、省エネの実行に向けて一貫してサポートします。

省エネ最適化診断

『コスト削減』と『脱炭素化』の同時達成

「省エネ」は最も脱炭素化に有効な手段ですが、省エネ最適化診断は、「省エネ診断」による使用エネルギー削減に加え、「再エネ提案」を組み合わせることで、脱炭素化を更に加速する支援サービスです。

【費用(税込)】

7,920円～25,850円 ※診断メニューにより変動

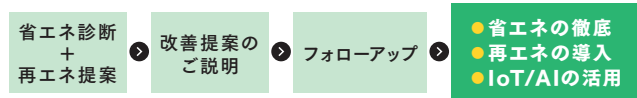
【診断を行う機関】

(一財)省エネルギーセンター



省エネ最適化診断の特徴

3つのステップでご支援!



診断及び提案項目

- 設備・機器の最適な使い方
- 温度、照度など設定値の適正化
- 排熱等エネルギーロスの改善、有効利用
- 太陽光発電など再エネ設備導入提案
- メンテナンス方法の改善による省エネ
- 高効率機器への更新

診断結果のご説明

経営層やエネルギー管理者の方に、提案内容や実施方法について丁寧に説明

- 提案内容による改善効果
エネルギー削減量、コスト削減額、CO2削減量
- エネルギー管理に関するアドバイス

※本内容は「令和7年度当初予算 中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費(エネルギー利用最適化診断等事業)」における内容です。

省エネお助け隊・登録診断機関による診断

省エネお助け隊による省エネ診断のご案内

こんな方におすすめ!

- ☑省エネに詳しい人材がおらず、何から手を付けたら良いか分からない
- ☑投資コストを抑えてできる省エネ取組を教えて欲しい
- ☑エネルギーコスト削減のために事業所全体で取組めることを洗い出して欲しい



省エネ診断では、事業所全体のエネルギー使用状況を把握し、省エネできる項目を洗い出し、改善項目についてご提案いたします。



診断名	対象	概要	診断を行う機関	特徴	費用(税込) ※診断を受ける者の負担額
ウォークスルー診断	工場・事業所	事業所の規模によりメニューが決定。	省エネお助け隊 登録診断機関 ※診断名は「ウォークスルー診断」	地域の支援機関や設備メーカー、エネルギー関連企業など、幅広い診断機関から選んで申込可能	15,000円～49,000円 ※診断メニューにより変動
	特定設備のみ	半日～1日の診断で、特定設備のエネルギーのムダを確認。	省エネお助け隊 登録診断機関	空調やボイラ、生産設備など、設備1つから申込が可能	1設備5,720円～ ※最大2設備まで
新設 IT診断	工場・事業所	設備・プロセスごとのエネルギー使用状況を計測・分析。よりきめ細やかな提案を実施。	省エネお助け隊 登録診断機関	数週間～数か月の計測により、エネルギー使用状況を可視化 設備更新の具体的な検討に活用可能	支援内容に応じて個別に見積 22,000～55,000円程度を想定 (最大220,000円)
伴走支援	工場・事業所	ウォークスルー診断やIT診断及び省エネ最適化診断を受診後に活用できる、省エネ取組実施に向けた支援。	省エネお助け隊	ウォークスルー診断やIT診断及び省エネ最適化診断の省エネ提案の実行をサポート 経営の専門家も参加、設備投資計画の作成、仕様検討等に対応	支援内容に応じて個別に見積 11,000～22,000円程度を想定 (最大48,840円)

※本内容は「令和6年度補正予算 中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費(地域エネルギー利用最適化・省エネルギー診断拡充事業)」における内容です。

省エネ・非石転換補助金 概要 [予算額：40億円 ※R7当初予算6.1億円を含む]

- エネルギーコスト高対応と、カーボンニュートラルに向けた対応を同時に進めていくため、工場全体の省エネ(I)、製造プロセスの電化・燃料転換(II)、リストから選択する機器への更新(III)、エネルギーマネジメントシステムの導入(IV)の4つの類型で、企業の投資を後押し。
- I型に中小企業投資促進枠を創設するなど、GXへの取組の第一歩として省エネを強力に促進する。

(I)工場・事業場型

工場・事業場全体で大幅な省エネを図る取組みに対して補助

補助率	1/2(中小)1/3(大)等
補助上限額	15億円等
補助対象経費	設計費・工事費・設備費

※省エネ効果の高い特定の設備(指定設備)の組み合わせによる事業所等全体での取組も補助対象。

(II)電化・脱炭素燃転型

電化や、より低炭素な燃料への転換を伴う機器への更新を補助

補助率	1/2等
補助上限額	3億円等
補助対象経費	工事費・設備費 <small>※工事費は中小企業に限る</small>

(III)設備単位型




リストから選択する機器への更新を補助

補助率	1/3等
補助上限額	1億円等
補助対象経費	設備費

(IV)EMS型

EMS(エネルギーマネジメントシステム)の導入を補助

補助率	1/2(中小)1/3(大)
補助上限額	1億円
補助対象経費	設計費・工事費・設備費

事業区分	(III) 設備単位型					
事業要件	<p>省エネ効果が高い効率的な設備(◎指定設備)の導入 SIIが予め定めたエネルギー消費効率等の基準を満たし、効率的な設備として登録及び公表した「指定設備」へ更新等する事業</p> <table border="1"> <tr> <td>ユーティリティ設備</td> <td>①高性能空調(産業・業務用エアコン等) ②産業ヒートポンプ ③業務用給湯器 ④高性能ボイラ ⑤高効率コージェネレーション ⑥低炭素工業炉 ⑦変圧器 ⑧冷凍冷蔵設備 ⑨産業モーター ⑩制御機能付きLED照明器具</td> </tr> <tr> <td>生産設備</td> <td>⑪工作機械 ⑫プラスチック加工機械 ⑬プレス機械 ⑭印刷機械 ⑮ダイカストマシン</td> </tr> </table> <p><small>※上記に該当しない「その他SIIが認めた高性能な設備」として指定した設備も対象となる</small></p>	ユーティリティ設備	①高性能空調(産業・業務用エアコン等) ②産業ヒートポンプ ③業務用給湯器 ④高性能ボイラ ⑤高効率コージェネレーション ⑥低炭素工業炉 ⑦変圧器 ⑧冷凍冷蔵設備 ⑨産業モーター ⑩制御機能付きLED照明器具	生産設備	⑪工作機械 ⑫プラスチック加工機械 ⑬プレス機械 ⑭印刷機械 ⑮ダイカストマシン	<p>[業務用給湯器]</p>  <p>[高効率空調]</p>  <p>[産業用モータ]</p> 
ユーティリティ設備	①高性能空調(産業・業務用エアコン等) ②産業ヒートポンプ ③業務用給湯器 ④高性能ボイラ ⑤高効率コージェネレーション ⑥低炭素工業炉 ⑦変圧器 ⑧冷凍冷蔵設備 ⑨産業モーター ⑩制御機能付きLED照明器具					
生産設備	⑪工作機械 ⑫プラスチック加工機械 ⑬プレス機械 ⑭印刷機械 ⑮ダイカストマシン					
省エネルギー効果の要件 ^{*1}	<p>原油換算量ベースで、更新範囲内において以下いずれかの要件を満たす事業 ・省エネ率：10%以上 ・省エネ量：1kI以上 ・経費当たり総エネ量：1kI/千万円以上</p> <p><small>※省エネ法に基づく定期報告義務がない事業者(特定事業者等以外の事業者)については、エネルギーの合理化に関する中長期計画を策定すること。(SIIが指定するフォーマットで作成)</small></p>					
補助対象経費	設備費					
補助率	1/3以内					
補助金限度額	[上限額]1億円/事業全体 [下限額]30万円/年度					

※令和6年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業における内容です。

スイッチOFFで未来をON

省エネで変わる、あなたの事業と地球の未来。

INDEX

支援制度概要	02
省エネ診断 活用事例：学校法人 本田学園柴宮幼稚園	05
IT診断 活用事例：有限会社 伊藤食品	06
伴走支援とは？	07

活用事例

- 1. 株式会社アイオー精密** 省エネ診断 伴走支援 08
「伴走支援を継続しエネルギー浪費を徹底排除」
エアール診断もプロに任せてすぐに修繕
- 2. 協同組合八食センター** 省エネ診断 伴走支援 補助金活用 10
「補助金交付につなげた省エネ診断と伴走支援」
省エネ設備に更新し、エネルギー使用量の削減に成功





(出典)公益財団法人福島県私立幼稚園認定こども園連合会HPより

省エネ最適化診断

学校法人 本田学園柴宮幼稚園

業種/教育・学習支援 従業員/36名 TEL/024-945-8125
所在地/〒963-0111 郡山市安積町荒井字前田40-1 FAX/024-945-9835

当社のPRポイント 当園では、一人ひとりの子どもについての指導と支援の在り方を保護者と共有し、限りない可能性を秘めていることを認識しながら「自らの力で自らの輝きを発する子どもの育成」を目標に職員が丸となって取り組みます。そして、この子どもには、「このように成長してもらいたい」という親の願いを大切に保育をしております。

- エネルギー使用量など 原油換算量：年間約19.2kℓ
- 診断費用 10,670円
- 診断メニュー 省エネ最適化診断A診断(専門家1名)/(一財)省エネルギーセンター



省エネ診断

午前

STEP1 主要設備・使用電力量確認

- 診断の前に、**照明の点灯時間や空調の開始時期、年間使用電力量等のヒアリングを実施。**
- 今回の診断では、省エネに向けた運用改善に加え、長いもので27年以上使用している空調器や製造中止になる蛍光灯の更新に向けた診断を実施。

午後

STEP2 ウォークスルー診断

ウォークスルー① 空調機

- 各教室や配置されている空調機の脇に記載されている型式、製造年月等、室外機の仕様を確認していく。
- 放射温度計を使い**空調機の吸込温度が設定温度と同じ**であるかをチェックしていく。

ウォークスルー② 蛍光灯・その他設備

- 蛍光灯に記載されている型式やワット数を確認。
- その他の設備では、**トイレの便座の型式や屋外の受水槽周り、プレーカーの設置場所**をチェックした。



診断員が目視でチェック



放射温度計

1ヶ月後

STEP3 診断説明会

- 診断終了後に、**診断結果や改善提案をまとめた報告書が作成される。**
- その報告書を用いながら診断士が省エネ提案や説明を行う。



省エネ診断 改善提案

提案内容(運用改善)

コストを掛けない省エネ提案(運用改善)で**約14万円**の削減

提案事項	削減効果
各教室の冷暖房温度緩和	約11.1(万円/年)
室外機不使用期間の電源遮断	約3(万円/年)

提案内容(設備更新)

設備更新による省エネ提案で**約52万円**の削減

提案事項	削減効果	投資額(万円)	投資回収(年)
節電器の設置	約0.5(万円/年)	0.8	1.5
高効率空調機への更新	約23.4(万円/年)	2000	85.5
照明器具をLED器具に更新	約27.2(万円/年)	265.9	9.8
瞬間式洗浄便座に更新	1(万円/年)	8	8.0

診断説明会での提案

- 空調機とLED照明の更新**
今回の診断では、主に空調機とLED照明の更新が省エネ効果が**大きいものとしてあげられた。照明については、蛍光灯の他一部、水銀灯が使われており、LED転換することで省エネ効果を得ることができる。**
- 室外機不使用期間の省エネ**
空調機を使用しない期間であっても意外と待機電力を消費していることが指摘された。**室外機内部のクランクケースヒーターが稼働していることで電力を消費していることから、空調機未使用時にはプレーカーの遮断が提案された。**
- 節電器の活用**
診断士が、屋外の受水槽周りをチェックし、給水管にある凍結防止ヒーターにも省エネポイントがあった。**節電器をヒーターに取り付けることで、節電を行うことができ無駄な出費を省くことが可能となる。**



診断員 安藤さま [保有資格] 技術士(衛生工學部門)・建築設備士・エネルギー管理士
一般財団法人省エネルギーセンターエネルギー使用合理化専門員
約30年にわたり、工場・事業所の省エネに従事し、多数の改善提案を実施。熱・電気設備双方に精通し、ISO50001(エネルギーマネジメントシステム)の審査員としても活動している。



IT診断

有限会社伊藤食品

業種/食品製造業(納豆・豆腐等) 従業員/8名
所在地/961-0416 福島県白河市表郷金山百目木19
TEL/0248-32-3066 FAX/0248-32-3087

当社のPRポイント 金山納豆は、福島県西白河郡表郷村の清冽な地下水を浄水器でろ過し、不純物を完全に除去して製造しております。納豆、豆腐、共に、遺伝子組み換え大豆は一切使用しておりませんので、完全無添加・お子様、お年寄りも安心して召し上がれます。

- エネルギー使用量など 原油換算量：年間31.7kℓ
- 診断費用 約30,000円
- 診断メニュー IT診断/ミカド電装商事株式会社(省エネお助け隊)

IT診断

STEP0

- 診断の狙いは、**主要設備の稼働状況の把握**。
- 運用改善とともに、省エネ補助金の活用も視野にいれ、**17年以上使用している冷蔵庫の更新に向け**、電力計測を実施。

STEP1

- 計測機器をどこに付けていくか。 機器を止めずに計測器を設置可能
- **主要機器の導線、動力盤の位置を把握**。



STEP2

- **キュービクル等(受変電設備)へ計測器を取付け、全体の使用量を把握**。
- この状態ではまだ全体の電力量の把握に留まる。(全体ピーク値の把握)
- 次のステップで主要設備・ライン別の計測へと実施していく。
全体使用量とラインの動力回路を比較し、改善箇所を見つけていく。



CTロガー(クランプ式)

STEP3

- 設備の稼働状況をお伺いし、主要設備・ラインの動力回路に計測器を取り付けていく。
- 主要設備の計測により、**使用量の多い設備がデマンド値にどう影響しているか。また、実稼働はどの程度かを把握していく**。
- どの設備を測定しているかをきちんと把握するため、申込者の立ち会いの下、計測を実施。



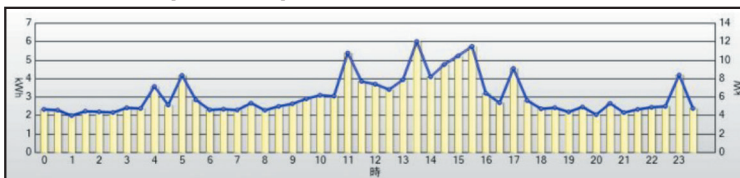
冷凍設備(主要設備)

IT診断 今後の展開

設備更新に向けて(省エネ補助金の活用)

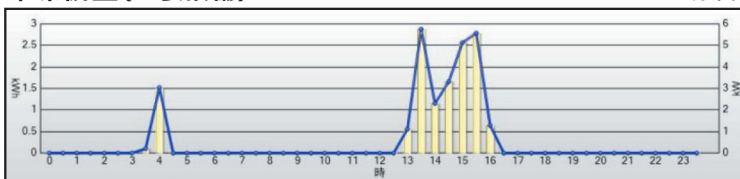
キュービクル(動力回路)

9月某日



冷凍機盤(主要設備)

9月某日



冷蔵設備の更新に向けて...

- 工場で作れる省エネに加え、2台の冷凍機の更新に向けた「省エネ・非化石転換補助金(経産省)」の活用を検討するため、IT診断を実施した。
- 電力計測により、設備の稼働状況を把握。工場全体に占める使用量に対し、想定していたより冷凍機の稼働時間・電力使用量が少なく、省エネ効果が小さいことが分かった。
- 省エネ効果を勘案し、I型の活用に向けては、冷凍機の大規模な更新が必要になることから、III型の設備単位型や省エネお助け隊の伴走支援の活用を含め、更新を検討中。



診断員 **Kさま** [保有資格] 1級電気工事施工管理技士・2級管工事施工管理技士

ミカド電装商事株式会社

(宮城県・山形県・福島県で活動する省エネお助け隊)

蓄電池等電気設備の設計・施工に従事。今年度から、省エネお助け隊として工場の省エネルギー診断、省エネ提案を実施。診断に加え、各種事業者へ向けたセミナーの開催等も実施。

伴走支援とは？

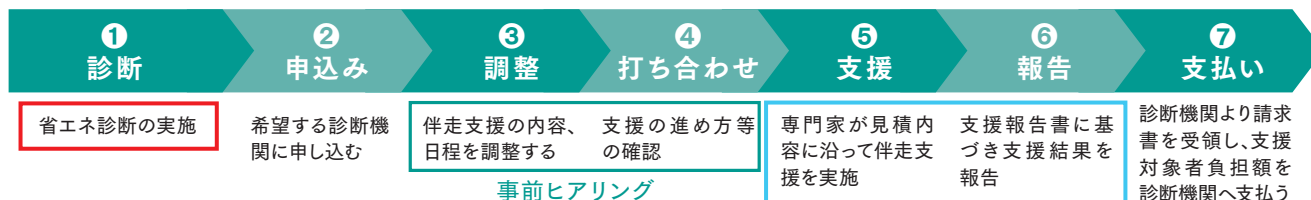
ウォークスルー診断やIT診断及び省エネ最適化診断を**実施後**に活用できる、**省エネ取組実施に向けた支援**です。
「診断を受けたけれど、実際にこの後どのように取り組んでいけばよいか」とお悩みの事業者へ向けて、個々のニーズに合わせて、様々な省エネ・再エネ取組のサポートをいたします。

支援概要

省エネ診断実施後の継続的支援、設備更新の仕様検討・効果検証、運用コスト低減につながる設備のチューニング、計測によるエネルギーロスの把握、金融機関への融資のサポート、補助金申請のサポート など

*他診断機関が実施した省エネ診断後も活用OK！

■ 伴走支援の流れ

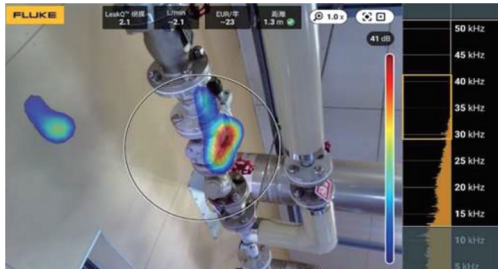


■ 伴走支援の事例

① 省エネ診断の結果

提案内容	提案種類	改善提案(抜粋)				
		原油換算削減量 [kg/年]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂]	費用削減額 [千円]	投資金額 [千円]	投資回収 [年]
蒸気漏れの防止	運用改善	2.4	6.5	249	—	—
蒸気ボイラの圧力低減	運用改善	0.7	2.0	75	—	—
コンプレッサの吐出圧力低減	運用改善	1.3	2.9	164	—	—
蒸気ドレンの回収利用	設備投資	2.7	2.7	281	1,000	3.6

② 伴走支援を活用して実際の改善提案を実行(蒸気漏れ調査)



食品製造業では、ボイラによる蒸気の活用も多く、蒸気配管からの漏れ量も多い。

一方で、どの程度漏れているか、どこから漏れているのか、把握する必要がある。

伴走支援により、診断提案でもあった蒸気漏れの測定を実施。超音波カメラで測定することで、実際に漏れている箇所・漏れ量を可視化。改善することで、燃料使用量として、年30万円の削減に！

提案内容	原油換算削減量 [kg/年]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂]	費用削減額 [千円]
【ボイラ・給湯器】 蒸気配管漏れの対策	2.90	7.96	300

事例①：食品製造業①

- ・エネルギー使用量(原油換算値)：約270kl/年
- ・従業員数：約120名
- ・電力、A重油、灯油、LPGを使用

事例②：食品製造業②

- ・エネルギー使用量(原油換算値)：約1,400kl/年
- ・従業員数：約80名
- ・電力、A重油、灯油、LPGを使用

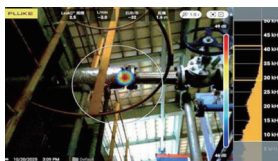


【蒸気漏れ対策】

- ・削減値(原油換算)：5.3kl/年
- ・費用削減額：約45万円/年

事例③：プラスチック製品製造業

- ・エネルギー使用量(原油換算値)：約750kl/年
- ・従業員数：約30名
- ・電力、A重油、灯油、LPG、軽油を使用



【蒸気漏れ対策】

- ・削減値(原油換算)：1.3kl/年
- ・費用削減額：約10万円/年



診断を受けたけれど、この後どうすれば良い…?

設備ごとのエネルギー消費量計測や設備更新に向けた補助金の活用を計画したい。

省エネお助け隊の伴走支援が、省エネ取り組みの実行に向けてサポートします！



伴走支援を継続しエネルギー浪費を徹底排除

エアリー診断もプロに任せてすぐに修繕



省エネ診断・伴走支援制度

株式会社アイオー精密

業種／精密金属加工業 従業員／315名
所在地／〒025-0015 岩手県花巻市東十二丁目17-1
TEL／0198-22-4330 FAX／0198-22-4361

当社のPRポイント

旋盤・フライス・熱処理・研削・表面処理・歯切りをすべて自社で行い、一貫生産による徹底した品質・納期管理を誇ります。加工のスペシャリストが手掛け、単品や小ロットの受注も可能。自動車や半導体、光学機器、工作機械など、お客様の業種も多岐に渡ります。

- エネルギー使用量など 原油換算量：年間1,127.1kℓ
- 費用 診断費用130,500円 / 伴走費用13,050円
- 診断メニュー 省エネ診断／特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて(省エネお助け隊)

省エネ診断・伴走支援活用の背景

省エネの取り組みを始めるにあたり、全体の状況を把握する目的で省エネ診断を実施。エネルギー削減ポテンシャルなどの数値化と併せ、伴走支援によるエアリー診断の提案を受けた。

同社では民間企業(メーカ等)の測定なども提案を受けていたが、コストが高く、実施を見送っていた。省エネお助け隊では、省エネ診断から伴走支援を活用した実際の改善実施まで、**比較的安価にサポートしてもらえるため、診断と伴走支援によるエアリー診断を実施**した。6年前に最初の省エネ診断を受けて以降、継続して省エネ診断・伴走支援(エアリー診断測定など)を活用している。

省エネ診断の実施

改善のポイント(提案内容)

改善提案表

提案内容	提案種類	原油換算削減量[kℓ]	原油換算削減率[%]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	費用削減額[千円]	投資額[千円]	回収年[年]
工作機械類の待機電力削減	運用改善	33.05	2.9	52.85	4,093	—	—
空調機提案まとめ(GHP)	運用改善	24.41	2.2	56.54	2,115	—	—
圧縮空気設備廻りの省エネ	運用改善	13.53	1.2	21.62	1,675	—	—
変圧器の統合	設備投資	6.02	0.5	9.63	746	1,500	2.0
屋外凍結防止ヒーターの省エネ	設備投資	9.47	0.8	15.14	1,172	1,480	1.3
エアブローガンへの減圧弁設置	設備更新	2.40	0.2	3.84	298	600	2.0
太陽光発電設備導入 自家消費	設備更新	59.66	5.3	163.53	12,664	84,400	6.7

2025年、改めて、株式会社アイオー精密本社工場を対象に省エネ診断を実施。事業所は2017年竣工と新しく、断熱性や気密性に優れており、最新型の機械を多く導入するなど、省エネ型設備が揃っている。一方で、エネルギー削減の余地も多く、複数の対応策を提案した。**コストを掛けないでできる省エネ(運用改善)として、約788万円(CO₂で約131トン)の改善内容**を提案。また、変圧器の統合など5年以内に投資回収が可能な提案も複数あった。診断を受けて以来、本社工場やその他の工場においても、LED化や空調制御などは実施しており、専門家から見たその他の改善余地として今後の省エネ活動においても非常に有効であった。

エアリー漏れ測定による診断後の省エネ実行までサポート (伴走支援の活用)



省エネ診断後、実際にエアリー漏れを精密に調査するために、特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわてによる伴走支援を活用した。

エアリー漏れの測定には、超音波で漏れ量を即座に可視化、測定できる機器を使用。

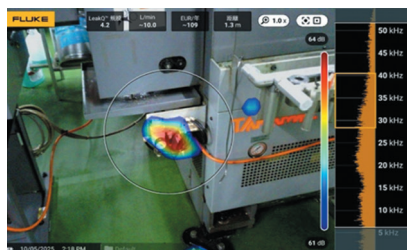
伴走支援の中では、機器による測定箇所の検討、測定、そして実際の漏れ量からどの程度の金額が削減できるかなどを専門家が調査結果報告書として提示。**高額な機器の購入費用や、測定箇所の検討・改善効果の算出などの専門的な知見について、自社で実施する場合に生ずる負担を、伴走支援によりまとめて対応。**

エアリー漏れ測定(伴走支援)による改善効果

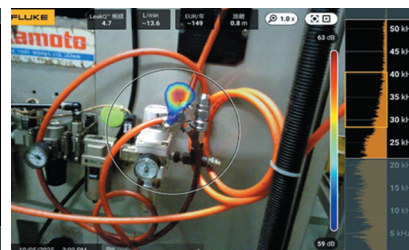
結果として、**50ヶ所以上の漏れを特定**した。配管の接合部やエアブローガンレギュレーターの接続部分が配管・ホースの劣化などにより漏れが発生。

点検が困難な高所配管の測定も実施でき、漏れ箇所とその漏れ量が即座に可視化された。

削減効果として、年間約33万円(CO₂換算で約5トン)の報告を受け部品交換などを行った。また、当初の診断予測と修繕後の結果を比べたところ、数値にほとんど差がなく信頼できる診断であったことから、定期的に、伴走支援によるエアリー漏れ測定を活用している。



▲レギュレータのエア漏れ



▲ホース分岐のエア漏れ

継続した診断がさらなるエネルギー削減に

毎年、生産効率向上を目的にレイアウト変更や機材更新を行うため、前回は見られなかったエアリー漏れが発見でき、その都度修繕を行っている。

これまでの診断・提案で、機械のパーズ機能(不要物の排出機能)のエアリー漏れの指摘を受けた年があり、詳細な調査で年間約42万円の損失が発覚。定期的実施することで、新品品交換など修繕費内で対応できており、効率的な修繕・設備運用に繋がり、継続的なエネルギー削減が実現できている。

診断を受診してみよう

専門家ならではの診断・分析を低価格で得られます

工場はほぼ毎日、24時間稼働。設備台数も多いため音ではエアリー漏れを見つけられず、測定機器のレンタルも高額で調査できずにいました。**省エネ診断は、低価格な上に信頼性の高い分析結果を得ることができ、修繕の効果も出ています。今後も継続していくつもりです。**

製造本部 ものづくり連携センター 生産技術課 営繕Gr 主任 及川 勝裕様



補助金交付につなげた省エネ診断と伴走支援

省エネ設備に更新し、エネルギー使用量の削減に成功



省エネ診断・伴走支援制度・補助金活用

協同組合八食センター

業種／複合サービス事業 従業員／20名
所在地／〒039-1181 青森県八戸市河原木字神才22-2
TEL／0178-28-9311 FAX／0178-28-9312

当社のPRポイント

漁場豊かな八戸市に位置する当施設は、八戸で獲れた新鮮な魚介や水産加工品、青森土産など、バラエティに富んだ約70店舗が集う「食のテーマパーク」です。地元の人とふれあいながら買い物ができるほか、飲食店やキッズランドもあり、家族そろって楽しめます。

- エネルギー使用量など 原油換算量：年間1,194kℓ / 延床面積：18,340㎡
- 費用（R6年度）診断費用5,610円 / 伴走費用6,501円（R7年度）伴走費用6,809円
- 診断メニュー 省エネ診断(設備単位プラン) / 特定非営利活動法人 循環型社会創造ネットワーク(省エネお助け隊)

省エネ診断・伴走支援活用の背景

1980年の開業以来、増築やリニューアルなどを行ってきたが、35年以上前から稼働している吸収式冷温水発生機が令和5年8月に部品故障により停止。別棟で使用していた機器についても20年以上使用していたため、更新計画を立てていた。省エネ補助金等の活用を含めて検討していたが、申請に必要な省エネ効果の算出については、担当者だけで対応することが難しく、東北経済産業局からの紹介を受けて、省エネ診断の受診及び、省エネお助け隊の伴走支援を活用した。

省エネ診断による改善のポイント(提案内容)

令和6年5月に青森県の省エネお助け隊(NPO法人循環型社会創造 ネットワーク(CROSS))の空調設備のみを診断する設備単位プランの省エネ診断を実施。(令和5年度補正中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費(中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業))

空調設備のみの診断を実施し、当該設備容量・稼働状況を踏まえた省エネ効果を検討。市場価格や設備仕様を確認した上で、同スペックの設備に更新した場合の省エネ効果や投資額、投資回収期間を報告書にまとめた。設備更新に向けた効果の算出を目的としていたが、それ以外にも電気ヒータの設定温度の適正化、ポンプへのインバータ導入などの提案があった。

提案内容	提案種類	原油換算値 [kℓ/年]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂ /年]	削減費用 [千円/年]	投資金額 [千円]	投資回収 [年]
施設内トイレの電気ヒータの設定温度の適正化	運用改善	2.08	4.46	279	—	—
冷温水発生器の冷却ポンプ等へのインバータ導入	設備投資	4.81	10.31	544	1,000	1.6
既存の油焚き(A重油)吸収式冷温水機の更新	設備更新	35.52	97.44	3,276	82,000	25
既存のGHPエアコンの更新	設備更新	12.94	29.98	1,934	67,900	35.1

診断を受診してみて

事業所に合った改善提案で、補助金以外のメリットも多数

補助金の交付につながっただけでなく、自分たちだけでは気づけなかった課題が見つかり、エネルギー使用量が削減できました。今後は組合員・テナントも巻き込んで、持続可能な省エネを図っていきたいですね。省エネ診断・伴走支援ともにメリットばかりなので、補助金活用を検討している方には特におすすめします。

事務局業務課 課長 佐々木 俊文様



診断後、省エネ補助金を活用した設備更新を実施

省エネ診断後、吸収式冷温水発生器の更新を行った。

令和5年度補正予算 省エネルギー投資促進 支援事業費補助金(Ⅲ)設備単位型(省エネ補助金)を活用し、**約1000万円の補助を受け、設備費だけで3,000万円規模の投資**を実施した。

導入の結果、A重油の3,400ℓ削減(年間)に成功した。これは、原油に換算すると33.019ℓにも及ぶ。また、この更新により電気の使用量も前年比94%を実現した。

季節やその日の気温状況を適切に判断したことで、A重油の削減のみならず電気使用量の削減という相乗効果を得ることができた。

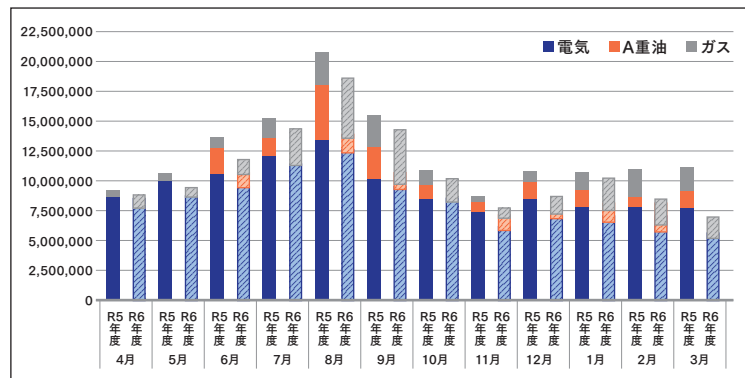


● 吸収式冷温水発生機

補助金の申請・報告もサポート(伴走支援)

省エネ補助金の活用に向けて、省エネ診断後、伴走支援制度(省エネ診断後に利用が可能)を活用。診断を担当した省エネお助け隊が、**補助金等の申請サポートや更新設備の最適仕様の調査、省エネ・再エネ取り組みといった幅広い支援**を行った。省エネ補助金を受けた場合は、設備の更新後に省エネルギー量の実績報告が義務付けられている。2回にわたり伴走支援を活用したことで、令和6年度の設備更新に向けた補助金の活用から、**令和7年度における省エネ補助金活用後に求められる省エネ量の報告**まで、スムーズに進めることができた。

エネルギー使用量



R5年度：150,924,326円 → 令和6年度：132,776,513円 / 前年比88.0%

設備費の1/3と基礎工事費を補助金で

令和5年度補正の公募要項を満たすためには、省エネ効果について、稼働率や設備容量を考慮した算出が必要だった。そのため、省エネ診断と伴走支援を活用して申請。省エネ補助金の交付が決定し、設備費の1/3にあたる補助を受けた。また、省エネ補助金で対象外となっていた基礎工事費等については八戸市の中小企業団体向けの助成金を活用した。

補助金・助成金を活用した設備投資

① 令和5年度補正省エネルギー投資促進支援事業(2次募集)

② 増築棟：吸収式冷温水発生機

工事費：79,700,000円
 補助対象経費：31,493,200円
 // 対象外経費：48,206,800円
 補助金想定額：10,497,733円

② 八戸市共同施設設置事業に対する助成

③ 厨スタジアム&味横町：GHP

工事費：62,300,000円
 + ④ 補助対象外経費：48,206,800円
 ※ 総工事費：110,506,800円
 補助金想定額：22,101,360円

1/3

20/100

年末商戦前の稼働を目指し、10月上旬から並行して更新工事を行った。

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネポータルサイト

各種支援制度

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/



省エネ・節電ポータルサイト

<https://www.shindan-net.jp/>



令和7年度補正省エネお助け隊 省エネ診断・伴走支援の特設サイト

<https://shoeneshindan.jp/>



令和7年度補正省エネ補助金 特設サイト

<https://syouenehojyokin.sii.or.jp/>



令和7年度補正省エネ補助金 工場・事業場型

<https://sii.or.jp/koujou07r/>



令和7年度補正省エネ補助金 設備単位型

<https://sii.or.jp/setsubi07r/>

